

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年1月分:速報)



<対世界>

- 輸出総額: 7,240 億円(伸率: +13.4%) ⇒ 9か月連続のプラス
 - ・順位: 51位、1月としては1位
 - 【順位は、昭和54(1979)年1月以降(529か月、1月は45か月)による。以下同じ。】
 - ・増加品目: 半導体等電子部品(同+46.6%)、船舶(同+56.0%)
- 輸入総額: 1兆247億円(伸率: +41.8%) ⇒ 24か月連続のプラス
 - ・順位: 8位、1月としては1位
 - ・増加品目: 原粗油(同2.0倍)、石炭(同2.1倍)
- 差引額: ▲3,006億円(伸率: 3.6倍) ⇒ 10か月連続の輸入超過
 - ・順位: 524位、1月としては44位
 - 為替レート: 2023年1月: 132.08円/ドル(2022年1月: 114.82円/ドルと比べ15.0%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等電子部品(666億円→976億円、伸率: +46.6%)は、韓国(204億円→433億円、同2.1倍)及びベトナム(109億円→207億円、同+90.3%)向けが増加し、12か月連続のプラスとなった。

また、船舶(322億円→503億円、同+56.0%)は、パナマ(36億円→163億円、同4.6倍)及びリベリア(26億円→117億円、同4.4倍)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

一方、プラスチック(300億円→235億円、同▲21.7%)は、韓国(89億円→54億円、同▲38.9%)及び中国(107億円→85億円、同▲20.6%)向けが減少し、7か月連続のマイナスとなった。

○輸入

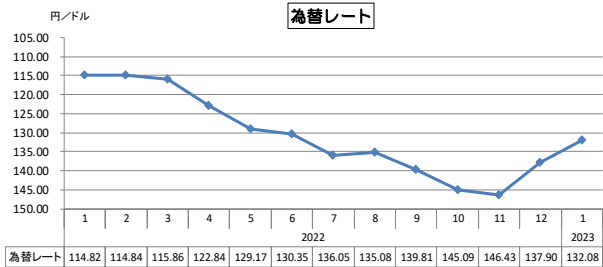
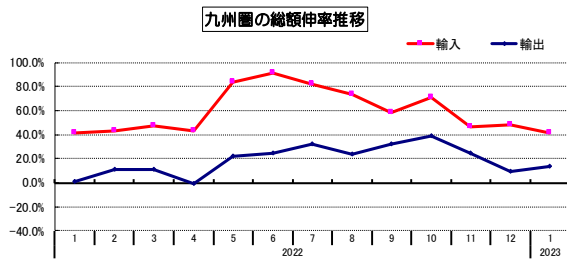
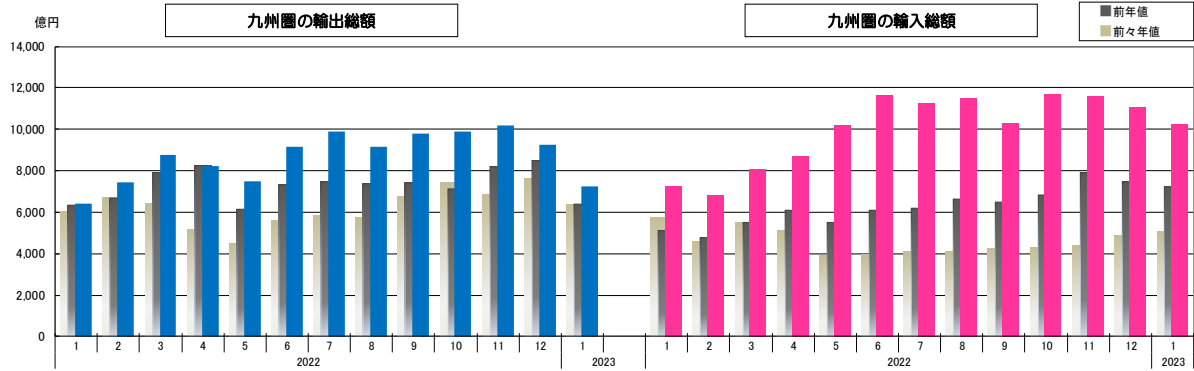
原粗油(178万KL→287万KL、伸率: +61.3%、1,022億円→2,077億円、同2.0倍)は、数量、価額ともに増加し、21か月連続のプラスとなった。

また、石炭(388万MT→406万MT、同+4.6%、900億円→1,879億円、同2.1倍)は、数量、価額ともに増加し、20か月連続のプラスとなった。

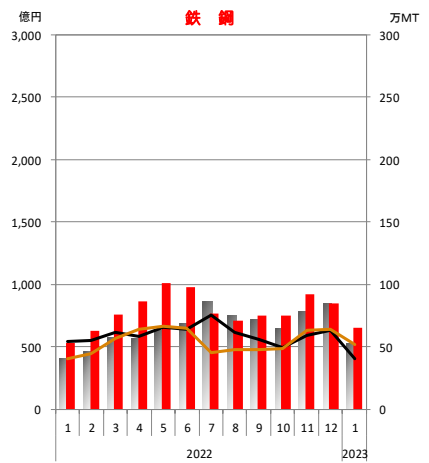
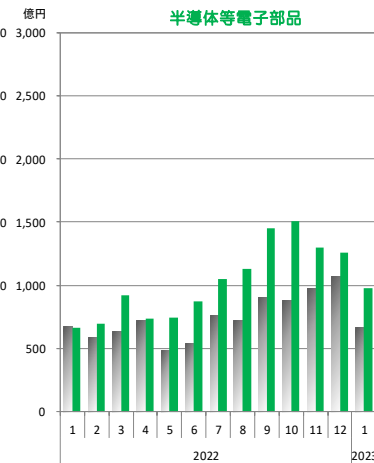
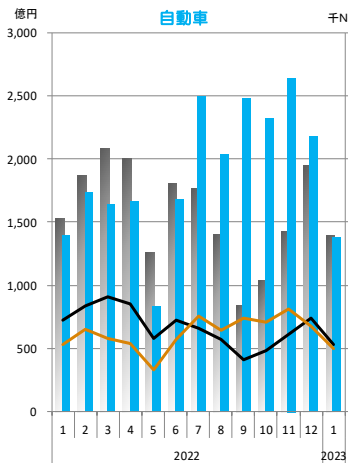
一方、有機化合物(189億円→156億円、同▲17.5%)は、韓国(37億円→18億円、同▲53.0%)及びアメリカ(29億円→14億円、同▲50.0%)からが減少し、24か月ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

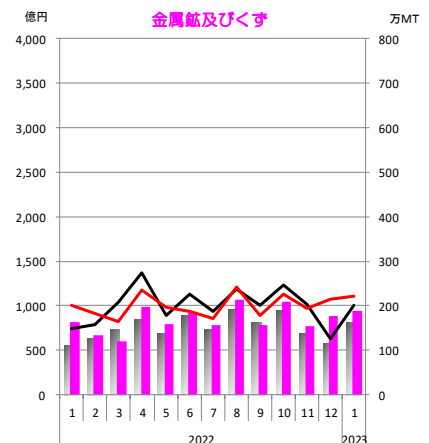
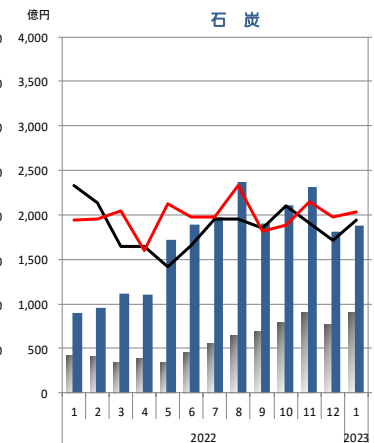
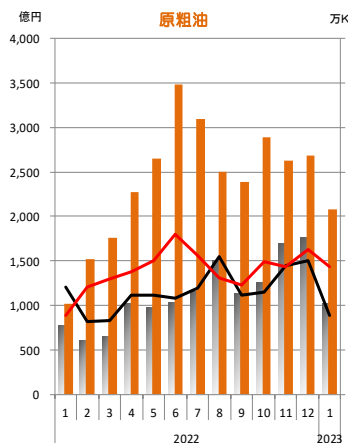
令和5年1月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。